

TPP ——私たちは知る権利がある。 ～政府が語れないその本質に迫る～

「カーギル 穀物メジャーの世界戦略」の著者

ブルースター・ニーン & キャサリン・ニーン 講演会

TPPの本質は何なのか？ 私たちは何もわかっていません。

日本のTPPへの参加。低迷する日本経済に風穴を開けるチャンスと期待される一方で、国を根底から揺るがす一大事だという捉え方があり、その賛否が大きく分かれています。

しかし実際、賛成派も反対派もTPPの実体を知らずに一部の偏った情報で、その是非について判断をしているようです。正確にTPPを理解していると自負している人でさえ、その本質にどれだけ迫っているのか、甚だ疑問なのです。

一体誰がこの政策を進めようとしているのか？

なぜ、どのような思惑で？

日本が参加したら、私たちの生活はどう変わるのか？

参加しなかったら、私たちはどうなってしまうのか？

行き先の分からないミステリーバスに身を委ねるのではなく、しっかりと先を見据えた上で、私たちは責任を持った選択をする必要があります。

長年にわたり世界を股にかけ「食と農を取り巻く政治・社会の構造」の研究を続けているブルースター・ニーン&キャサリン・ニーン。そのキャリアから得た知見のもと、TPPの仕組みをひも解き、その核心に迫る講演会が、北海道の生活者の声によって、実現します。

■講演会概要

日 時 2012年1月15日(日) 13:30～16:00(開場 13:00)
会 場 道新ホール 札幌市中央区大通西3丁目 道新ビル大通館8階
入場料 500円

プログラム

13:30 イントロダクション(実行委員長 挨拶)
13:35 ブルースター・ニーン氏による講演
(キャサリン・ニーン氏によるスライド補足 通訳 荒谷明子氏)
15:30 質疑応答(16:00終了予定)

主 催 TPPを考える市民の会

構成メンバー: コープさっぽろ、生活クラブ生活協同組合、NPO法人北海道食の自給ネットワーク、NPO法人さっぽろ自由学校「遊」
NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト、NPO法人地域づくり実践教育センターエスカトン
スローフード・フレンズ北海道、子どもたちの未来を創る会、ドリフターマン、北海道有機農業協同組合、
農民運動北海道連合会、有機農業研究会

協 力 北海道の有機農業をすすめる会

後 援 (社)北海道消費者協会

実行委員長 酪農学園大学 教授 高橋 一、(有)メノビレッジ長沼 エップ・レイモンド

※上記イベント・チケットに関する一般問合せ先 011-665-1717(事務局 生活クラブ生協 佐藤)

※講演内容および取材に関する媒体社問合せ先 011-388-4828(酪農学園大学 キリスト教NGO論研究室 高橋)
高橋の携帯・メールアドレス 080-1883-7051 hajime-t@rakuno.ac.jp

■ニーン夫妻の個別取材対応につきまして

1月12日(木)は終日対応いたします。

※取材申込・問合せは実行委員長(呼びかけ人代表)エップ・レイモンド080-4659-3575までお願いします。

■ニーン夫妻の日本滞在における他の講演スケジュール

○1月13日(金)13:00開場 13:30開演 「フードシステムを理解する～食料主権を勝ち取るために～」

酪農学園大学准教授 柳京熙(ユウ・キョンヒ)氏を交えてのクロストークも予定しています。

主催 酪農学園大学キリスト教NGO論研究室、他

会場 酪農学園大学中央館1階 学生ホール

※問合せ先 酪農学園広報室 011-388-4158

○1月19日(金)「タイトル未定」

主催 北海道中小企業家同友会とかち支部

会場 とかちプラザ 大集会室(帯広市)

※問合せ先

○1月21日(金)14:30開場 15:00開演 「TPPに負けない！～地域から広げる行動は～」

主催 北海道有機農業研究会

会場 北海道大学農学部多目的室

※問合せ先 荒谷明子 090-1523-2521

○1月22日(土)10:00～17:00 「行動を起こすための集中講座(仮)」

主催 NPO法人地域づくり実践教育センターエスカトン

会場 長沼町民会館・長沼温泉

※問合せ先 エップ・レイモンド 080-4659-3575

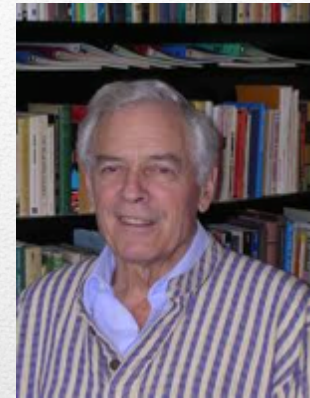
講師ブルースター・ニーン&キャサリン・ニーンについて

ブルースター・ニーン氏はグローバルフードシステムと呼ばれる世界の食料貿易動向および穀物メジャー企業の実態についての調査研究の第一人者。著書には世界最大の株式非公開企業である穀物メジャーの実像に迫る「カーギル」があります。

世界各国をまわり、講演をする傍らアグリビジネスの実態とその影響を調査、今も世界中の草の根活動に励ましと示唆を与え続けています。現代の科学技術への過剰な傾倒で工業化されたグローバルフードシステムに警鐘を鳴らしています。

キャサリン・ニーン氏はコミュニティオーガナイザー、活動家として現在、カナダを始め、世界各国の食料安全保障を実現する政策を提言する市民組織の理事を務めています。批判的な対立を煽るのではなく、論理的で実践的な政策を代替案として提言していく氏の方法は、今回の講演においてもその具体的事例の紹介を通して、大変示唆に富む話となるでしょう。

ニーン夫妻は約20年間にわたり、食と農業の構造をテーマとした「The Ramshorn」という月刊誌を発行しており、多くの研究者、農業者および一般市民に影響を与え続けています。



カーギル アグリビジネスの世界戦略
大月書店